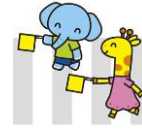




1 学年通信 前 進



令和 5 年 5 月 22 日
No. 4
発行責任者: 角田敏文
文 責: 中野帆奈美

○最近の学級の様子 ～班給食が始まりました～

先週より、班での給食が始まりました。これまでは、全員が前を向き、黙食を続けてきました。コロナウイルス5類移行に伴い、久しぶりに班ごとに机を向き合わせて給食を食べることができ、子どもたちは、声を出すときには、手で口を覆うようにし、気をつけながらも話を弾ませていました。「楽しく、美味しく」給食を食べている姿を見ることができ、うれしく思いました。



○道徳 ～「あいさつ」について考えました～

中学校生活が始まって約2ヶ月が経ちます。少しずつ学校生活にも慣れ、日々の学習に前向きに取り組んでいます。今回の道徳の授業では、礼儀に関わる「あいさつ」をテーマに、「愛情貯金をはじめませんか」という教科書の教材を使い授業を行いました。

まず、2人組になって「おはようございます」を伝え合う体験をしました。言われた側もどんな気持ちになったか、感想を伝え合いました。「明るく言えて楽しかった」「言う方も言われる方も気持ちが良い」という声があがりました。また、「おはようございます」の後にひと言、言葉を続ける体験では、「あいさつの後に言葉をつけ加えた方が楽しかった」「言われてうれしかった」「心が明るくなった」という反省から、あいさつの後のもうひと言や声の調子、返事の仕方が相手の気持ちを温めることに気づいた様子でした。最後に、あいさつについてこれからどんなことを大切にしていきたいかを考え、授業を終えました。

【生徒の感想】

- ・これからは、相手の顔を見ながら、明るくあいさつをするように心がけたい。
- ・気持ちの良いあいさつができると、今日もがんばろう！という気持ちになった。
- ・これからは会った人に自分から大きな声であいさつをして、一言つけ加えることを大切にしたい。
- ・普段あまり話さない人とでもあいさつをすることで心の距離が縮まると思った。
- ・あいさつをすると気持ちがよいことに改めて気がついた。
- ・あいさつは人との一番簡単にできる、大切なコミュニケーションだと思った。
- ・これからは朝のあいさつを元気にしようと思った。
- ・相手のことをもっと知るためにあいさつをしていきたい。
- ・あいさつは人との関係を結ぶ大切な言葉だと思った。



道徳は、「特別な教科 道徳」として位置づけられ、道徳の授業を通して何をどう学んだのかを通知表に文章で記述します。生徒が自分自身の良さや成長を実感し、意欲の向上につながるような指導を行っています。そのために、生徒同士が互いに意見を出し合い、考え合う、そして自分を見つめる時間となるような授業作りに取り組んでいます。